



酪農試験場だより

No. 122



県B&Wショウで酪試出品牛が「リザーブグランドチャンピオン」受賞！



平成18年3月23日（木）に矢板家畜市場で開催された第37回栃木県B&Wショウにおいて、スーパーカウ娘牛（マロニエ クレイト ルドルフ ET号）が、リザーブグランドチャンピオン及びベストアダー賞を受賞しました。

母親は平成5年度にアメリカから輸入した、ヒルトップ ハノーバービー クレイト ドゥービー号です。



<http://agrinet.pref.tochigi.jp/index.cgi>

- とちぎアグリネット会員の主な特典
- ①メールによる農政情報等が受け取れます。
 - ②詳細の気象情報の閲覧・ダウンロードができます。



今年も暑い夏がやってきます！



酪農家の皆さん、今年も暑い夏がやってきます。今年6月～8月の関東甲信地方の平均気温は平年並、また、降水量は平年並～多いと予報されています（平成18年5月25日 気象庁 気候・海洋部発表）。

すでに牛舎の開放や送風、十分な飲水量の確保、牛体の毛刈りなどに取り組み始めている方も多いと思いますが、今回は暑熱対策の中でも、エサの給与についてのポイントをおさらいしたいと思います。

Point1. 早朝の飼料給与

乳牛の体温は朝～昼まで低く、夕方～夜にかけて高くなるリズムがあります。飼料摂取後の代謝による発熱を抑えるために早朝給与に心がけましょう。

Point2. 消化性の良い粗飼料の給与

稲わら・刈り遅れの牧乾草などは消化性が悪いため、第一胃内に滞留して余分な発酵熱を産生し、体温上昇を招きます。消化の良い高エネルギーの粗飼料を中心に飼料給与を行いましょう（反対に消化が良すぎることによる軟便に注意！）。

Point3. 粗飼料の摂取量が落ちたら・・・

分離給与方式の場合、体感温度が上がると粗飼料の摂取量が減少し、相対的に濃厚飼料の摂取割合が増加します（アシドーシスや蹄病の原因）。粗飼料の摂取量が減少したら、必ず濃厚飼料の給与量を減らしましょう。また、粗飼料の摂取量減少を抑えるため、多回給与や切断長の短縮、夜間給与を行うことも有効です。

Point4. カビの発生に注意！

サイレージなど水分の多い飼料は特に腐敗しやすく、暑熱ストレスで弱った肝臓や第一胃内の有益な微生物に大きなダメージを与えてしまいます。保存管理をしっかりと行いましょう。

Point5. TMR（混合飼料）調整

水分が少ないと粗飼料と濃厚飼料が接着しないため、分離給与の場合と同様に濃厚飼料の選び食いが生じてしまいます。また、長時間放置して乾燥したTMRは嗜好性が悪くなります。暑熱時のTMRは高めの水分と新鮮なTMRの給与が重要です。

改良により泌乳量が多くなった現在の牛群は体内代謝が盛んなため、昔の牛に比べ格段に暑さに弱くなっています。

今年も早めに暑熱対策に取り組んで、この暑い夏を乗り切りましょう！！

（飼養技術研究室 高山 未来）



放牧利用推進について

かつて放牧場においては、小型ピロプラズマ感染症（ピロ病）の発生が大きな問題となり、中には重度の貧血を呈し、死亡する例や耐過後も発育、繁殖などに障害を残す被害の大きな疾病でありました。当時はピロ病への根本的対策もなく、殺虫剤の牛体への噴霧や牧野へ殺虫薬をヘリから散布する方法がとられ、経費も嵩み労多くして効果の少ないものでした。近年、新たな殺ダニ剤と投与方法が開発され、平成の初期ごろから新殺ダニ剤（フルメトリン剤）を牛体へ滴下（プアオン法）する方法が各地で実施され、その結果、多発していたピロプラズマ病の発生は激減しました。

そこで、これからの日本の畜産を考える上で、放牧の位置付けについて考えてみたいと思います。①放牧は牧野を有効利用している資源循環型農業であり環境が守られる。今後、環境と調和のとれた農業生産が広く取り入れられる時代に、放牧はその中で重要な位置付けとなる。②牧草地の高栄養の短草利用が行われるため、国全体としての飼料の自給率が向上する。③畜産農家にとって省力となり、飼料給与、糞尿処理などの作業が軽減される。④放牧された牛は飼料の食い込みが良く、牛体が丈夫に発育し、耐用年数が伸びる。などの利点があります。

これらの多くのメリットがある放牧を活用した畜産経営により、健康な家畜から生産される安全・安心な畜産物を供給していきましょう。



（南那須育成牧場 中島芳郎）

平成18年度自給飼料分析指導事業について

平成18年自給飼料（サイレージ）の分析受付は下記のとおりです。

☆受付日

平成18年

7月11日、7月25日、9月12日、10月10日、11月14日、
12月5日

平成19年

1月16日、1月30日、2月13日、2月27日、3月13日

☆分析できるサイレージ

トウモロコシ単播

イタリアンライグラス単播

イタリアンと麦の混播

量は1kg以上として下さい。

☆分析内容

一般成分分析（水分・pH・CP・DCP・TDN・CF・Ca・P・NDF）

硝酸態窒素濃度（※自給粗飼料の種類を問わず受け付けています。）

給与診断（希望者）

共励会（フリーク評点・VBN比・官能検査）

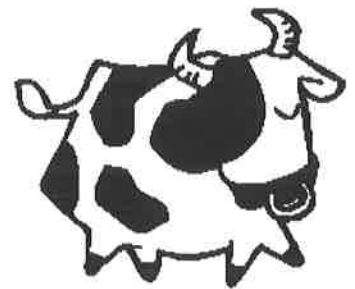
☆料金 サンプル1点につき1,300円分の栃木県収入証紙

☆必要なもの

申請書、硝酸態窒素分析希望の場合は依頼票、
給与診断希望の場合は給与実態票

☆その他

この事業についてのお問い合わせは、
酪農試験場または最寄りの各農業振興事務所まで
ご連絡下さい。



酪農試験場だより No.122 平成18年6月23日発行

栃木県酪農試験場 〒329-2747 那須塩原市千本松298

TEL 0287-36-0768 FAX 0287-36-0516

ホームページ：<http://www.pref.tochigi.jp/rakunou-s/index0.html>

毎月第3日曜日は家庭の日です